

平成27年度鳥取県アドバイザー派遣事業 鳥取県学校保健会養護教諭部会報告

テーマ 学校健康教育に関する研修を行い、養護教諭としての職務の充実・向上を図る

期日 平成27年11月17日(火) 9:20~16:40

講師 ①埼玉大学教育学部 戸部秀之教授
②岡山大学大学院 松枝睦美教授
③島根県江津市立跡市小学校 玉木敦教諭

参加者 県内小学校養護教諭 124名 県内中学校養護教諭 53名
県内高等学校養護教諭 32名 県内特別支援学校養護教諭 10名
県内短大・高専・その他の養護教諭 2名 計 221名

研修の概要

- ①【講演】「子供の動機づけ、行動変容、そして自己実現を目指す健康教育」
子どもたちの自己実現のための土台づくりとなる、健康教育を推進していく上で必要なこと
がらについて、行動科学に基づいた理論と実践例を交えてご講演いただいた。
学齢期から基本的な生活習慣を身につけさせるために、日々、それぞれが実践を重ねてきて
はいるものの、改善や持続させることに困難を感じることも多い。こうしたなか講演を通
して健康教育を実践する上での工夫や改善へとつながるたくさんのヒントをいただいたこ
とで、今後の取り組みの意欲を高めることができた。
- ②【講義・演習指導助言】「養護教諭の行うフィジカルアセスメント」
学校におけるフィジカルアセスメントの意義とその実際のプロセスについて研修した。講
義では、養護教諭の行うフィジカルアセスメントは、子どもの発達段階を考慮しながら、
情報を収集・分析し、査定することによって、重症度と緊急度を客観的に見極めることが
重要であることを学んだ。また、グループ演習では、事例シートをもとに健康課題を査定
する方法について学び合い、実技演習ではフィジカルアセスメントの基本技術を実際にペ
アになって行うことによって、判断技術の向上につなげることができた。
- ③【講義・演習指導助言】「解決志向で心を元気に ~ブリーフセラピーの活用を通して~」
解決志向ブリーフセラピーの学校現場への活用について、研究の取り組みならびに成果を
発表するとともに、コンサルテーションを取り入れた解決志向支援会議の演習を実施した。
講義では、実践事例に基づく解決志向アプローチの強み、実践に活かせる具体的な方策に
ついて学ぶことができた。この研修によって養護教諭自身のカウンセリング的対応能力が
高まり、問題解決を目指し意欲的に子どもたちに関わろうとする力が高まった。

成果と課題

子どもたちが抱えている心身の健康課題に対し、生活習慣の改善を基本に、集団・個別指
導や健康教育の具体的な進め方や課題解決に向けた方策、傷病時の判断能力の向上のための
技術の習得など、理論と実践を通じた研修により、養護教諭の職務における資質向上につな
げることができた。今後、さらなる研修を重ね、県内の養護教諭全体のレベルアップを図っ
ていきたい。